

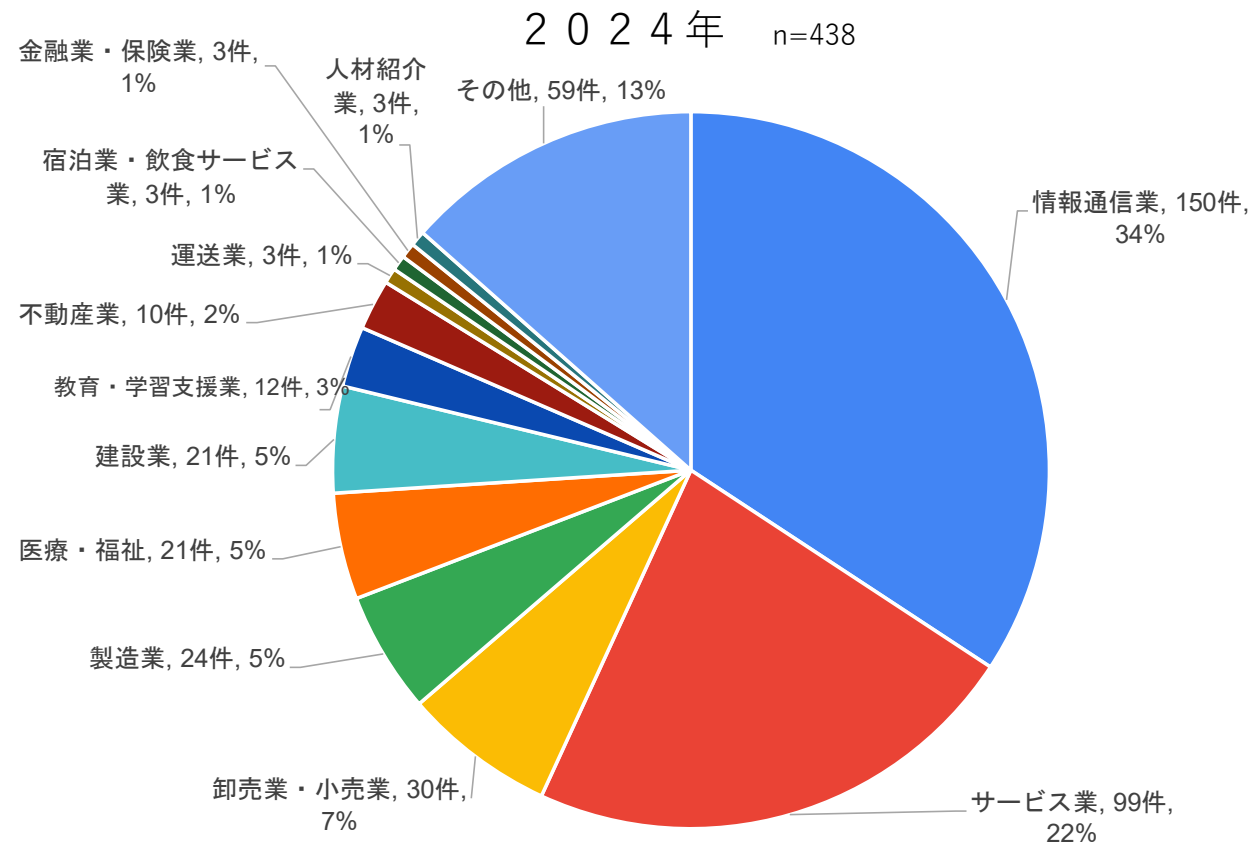
# 令和 6 年度 宣言企業におけるテレワーク実態調査 (第 2 回目)

2025 年 1 月  
東京都産業労働局

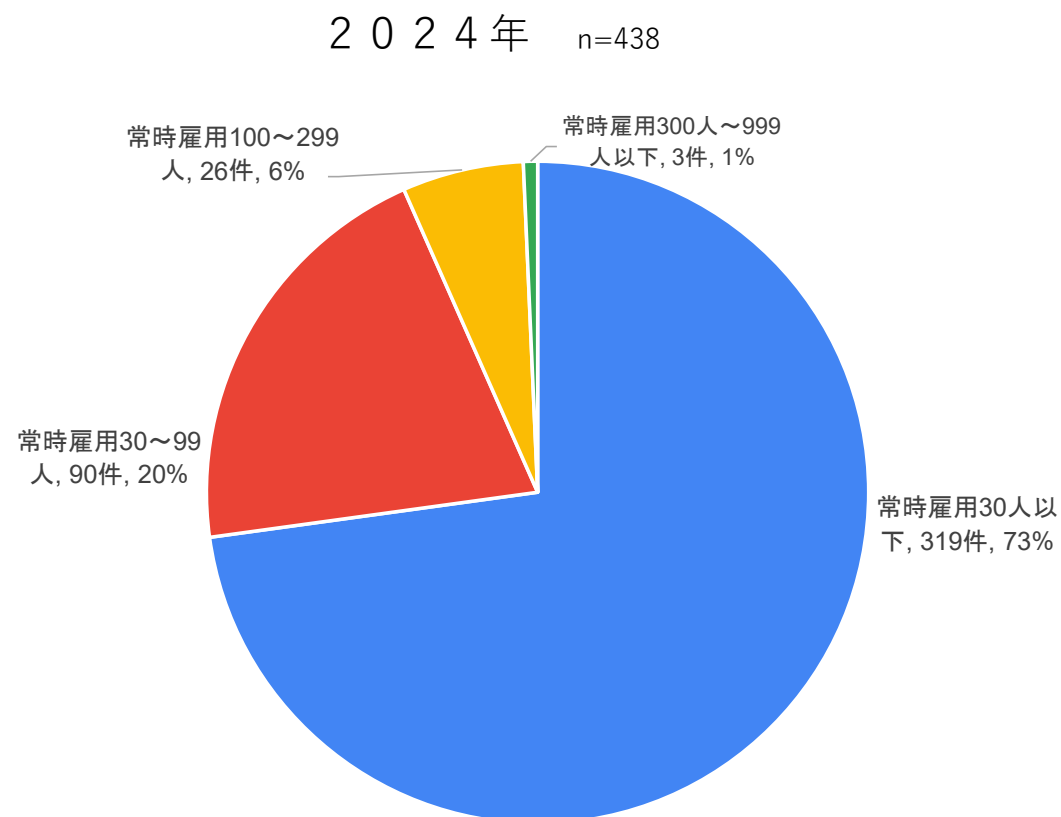
## ■アンケート実施内容

- ・ 期間：2024年10月10日～11月7日
- ・ 回答数：438件（2023年第二回は290件）

### 1 御社の業種を選択ください。

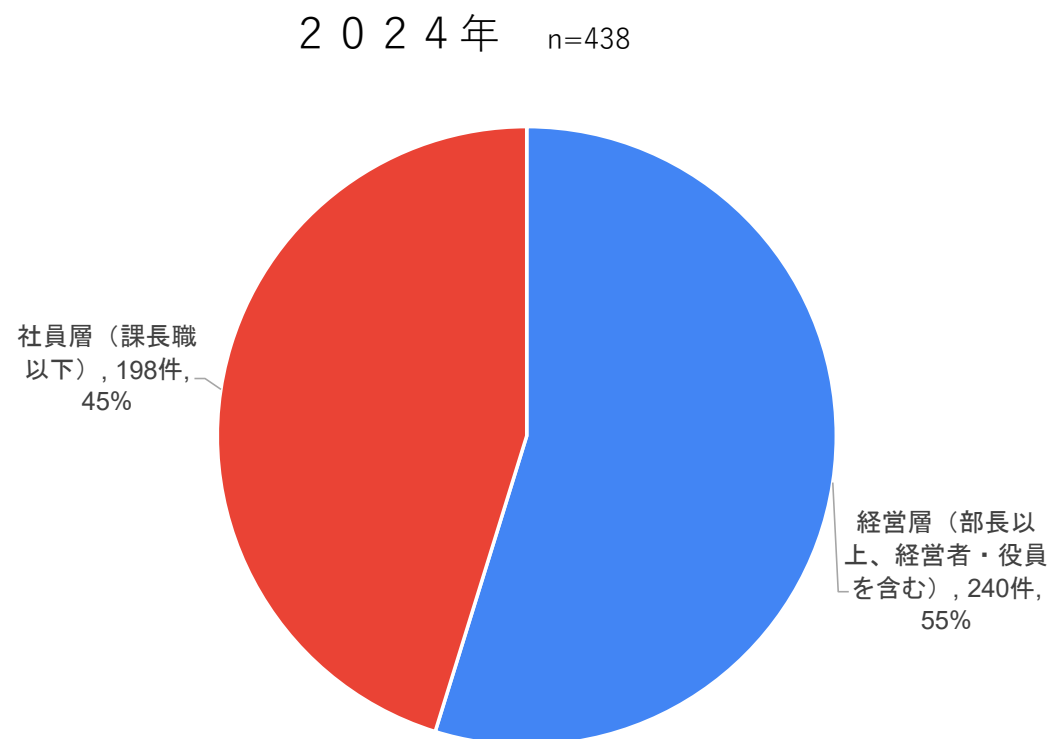


## 2 御社の企業規模を選択ください。



### 3 あなたの役職を教えてください。

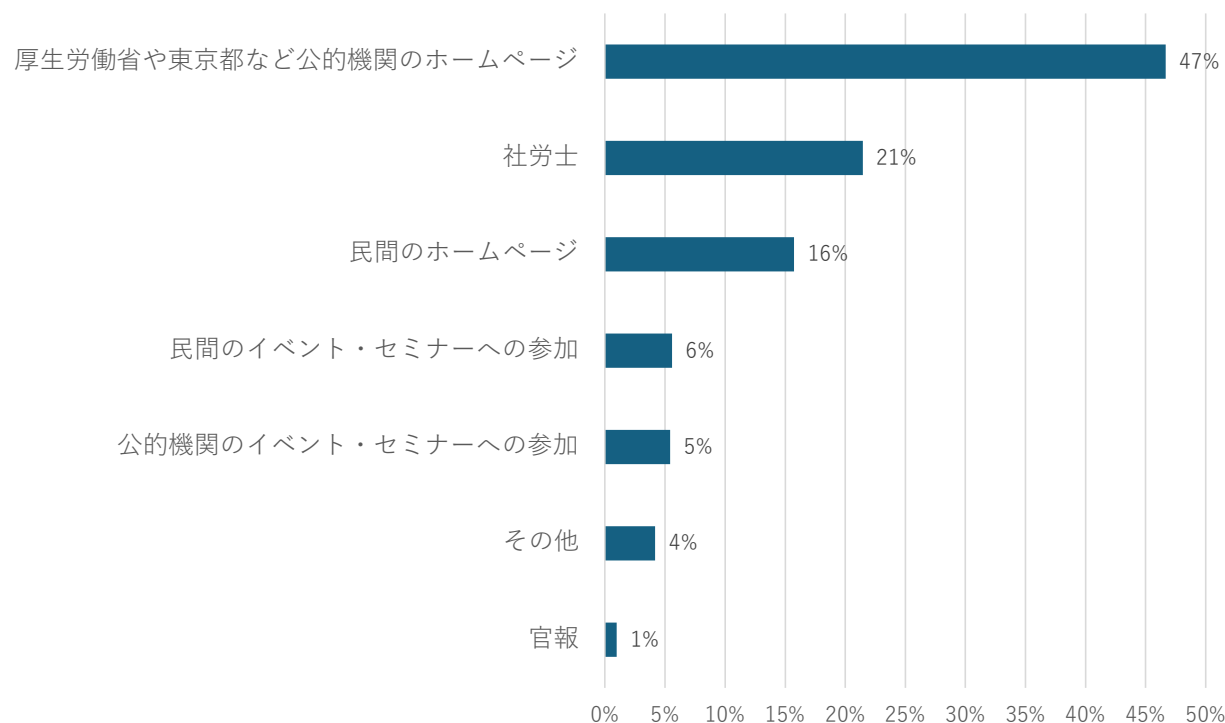
半分以上が経営層（部長以上、経営者、役員を含む）からの回答でした。



#### 4 2025年4月施行予定の育児介護休業法改正（子育てや介護でのテレワークなどの柔軟な働き方への対応努力義務など）へ向けてどのようなところから情報を収集していますか？（複数回答可）

半数近くが公的機関のホームページから情報を収集しており、次が社労士でした。イベントやセミナーへ参加しての情報収集は少なく、ホームページから情報を収集するか付き合いのある社労士から情報を収集している企業が多いことが伺えます。

2024年 n=438

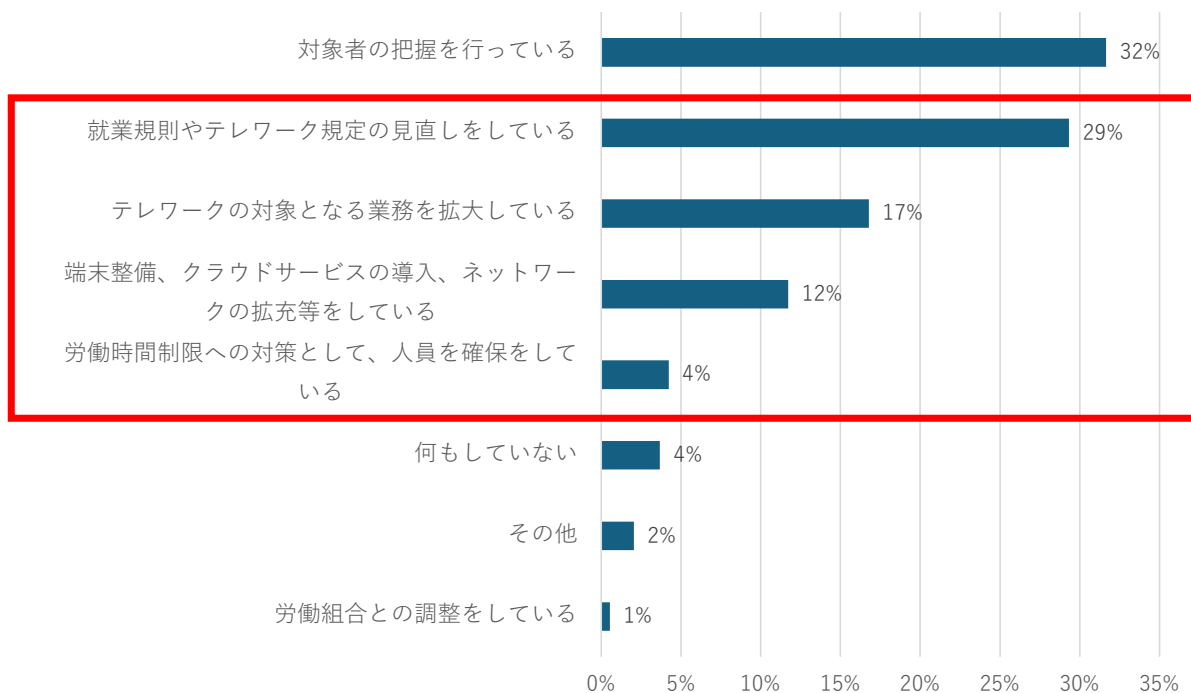


## 5 育児介護休業法改正へ向けてどのような対策を実施していますか？（複数回答可）

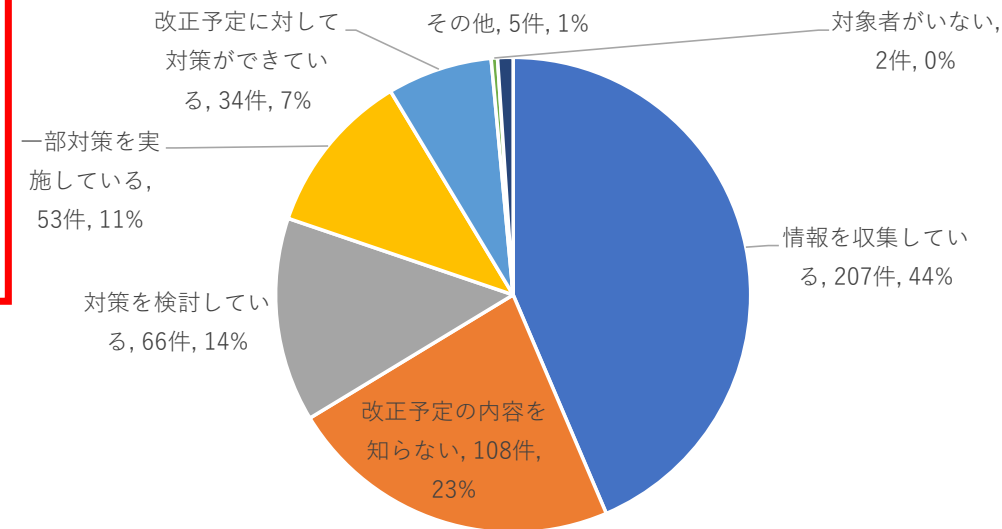
対象者の把握を行っているが最も多かったですが、規定の見直し、テレワーク業務の拡大、クラウドサービス導入など具体的な対策を実施している企業も多いです。

第1回アンケートでは、対策に着手している企業（改正予定に対して対策ができている・一部対策を実施している）が18%に留まるのに対して、第2回では58%の企業（赤枠内）が対策に着手しており、具体的な対策が進み始めていることが伺えます。

2024年 n=438

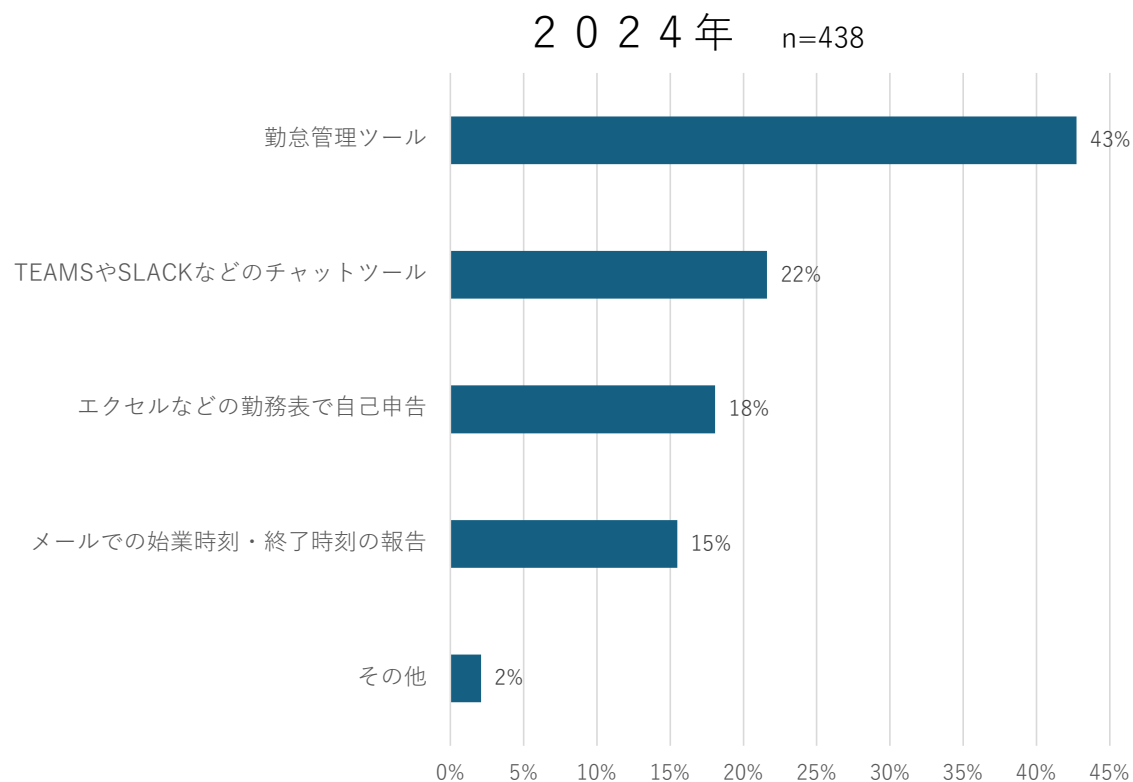


（参考）第一回目アンケート  
育児介護休業法改正への準備を進めていますか



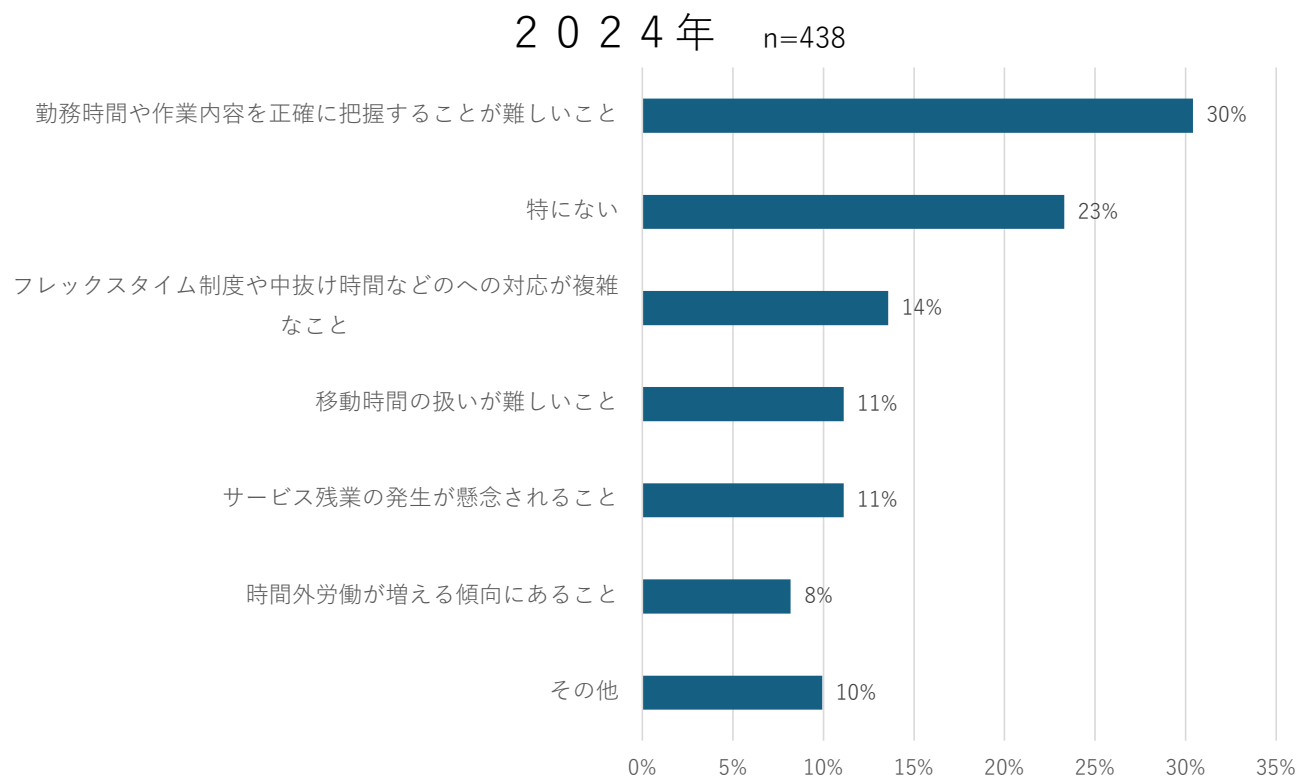
## 6 テレワークにおける勤務時間管理はどのように実施していますか？（複数回答可）

勤務管理ツールを導入している企業が最も多いですが、普段業務で使っているチャットツールやエクセル、メールなどを工夫、活用して勤務管理を実施していることが伺えます。



## 7 テレワークでの勤務時間管理で困っていることはありますか？（複数回答可）

勤務時間や作業内容の正確な把握や労働時間制度（フレックスタイム制度、中抜け時間など）への対応などが上位にあがっています。一方で、特に困っている事がないと答えた企業も23%と2番目に多く、現状のしくみで満足している企業も多いことが伺えます。



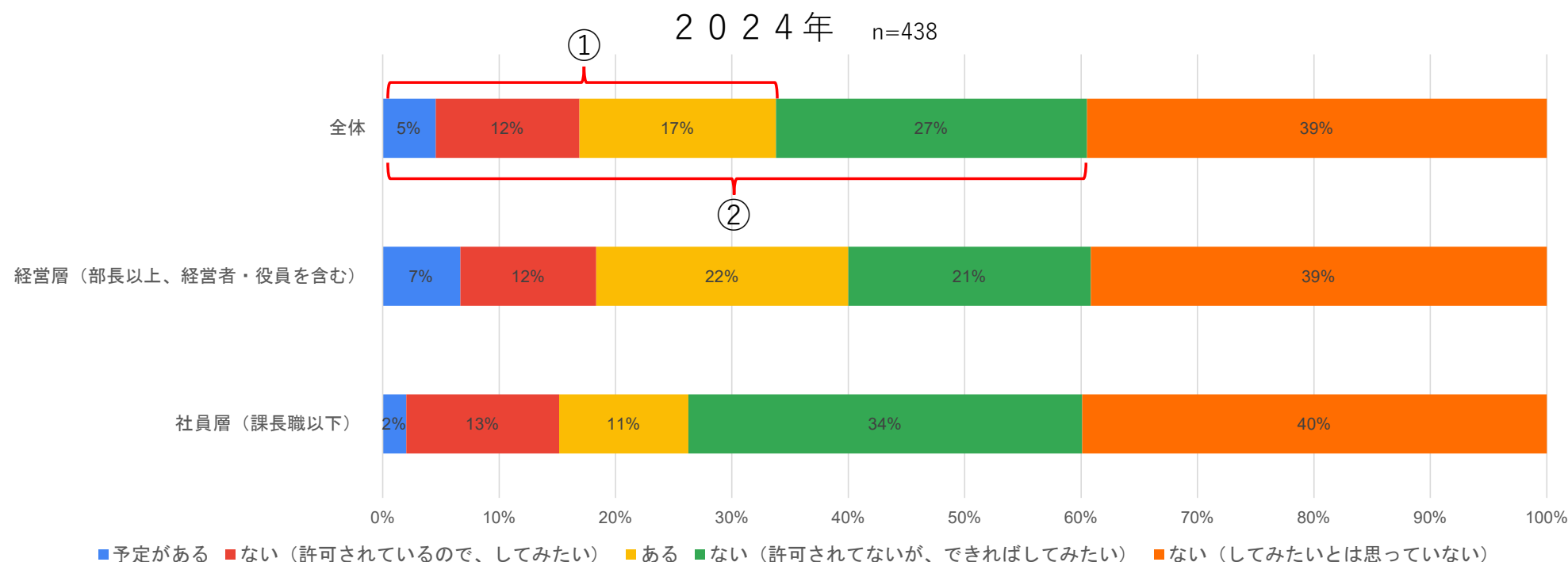


## 8 ワーケーション（※）をしたことがありますか？

※）仕事（Work）と余暇（Vacation）を組み合わせた造語。テレワークを活用し、普段の職場から離れ、リゾート地等の地域で、普段の仕事を継続しつつ、その地域ならではの活動を行うこと。

許可されている企業は全体の約3割（①）ですが、約6割（②）の企業では既に実施しているか実施してみたいと思っており関心は高いです。

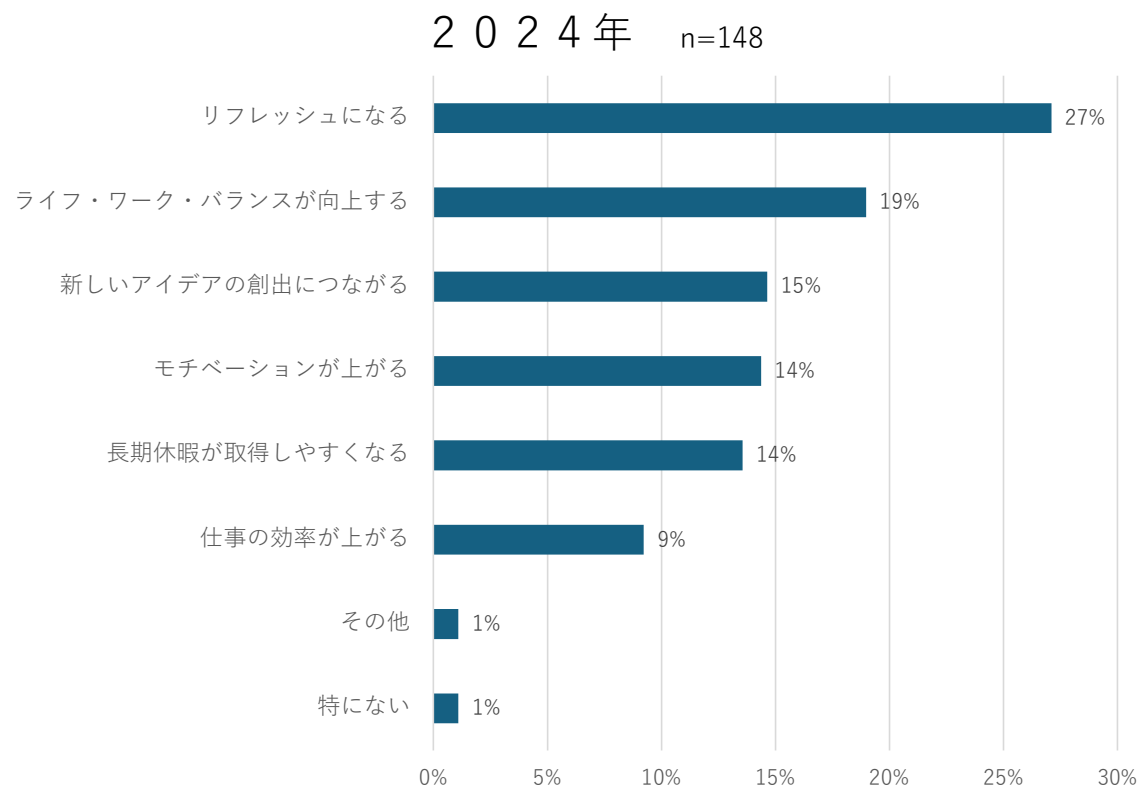
経営層（部長以上、経営者・役員を含む）と社員層（課長職以下）での回答の違い「ない（してみたいと思っていない）」に差はなかったですが、「ない（許可されてないが、できればしてみたい）」では社員層が13%多く回答があり、できればしてみたいと思っている社員層が多いことが伺えます。また「したことがある」との回答は経営層が社員層の倍近くありました。



<ワーケーション経験あり、予定あり、許可されておりしてみたい方からの回答>

## 9 ワーケーションの実施に関して、どのようなメリットを感じましたか（感じると思いますか）。 （複数回答可）

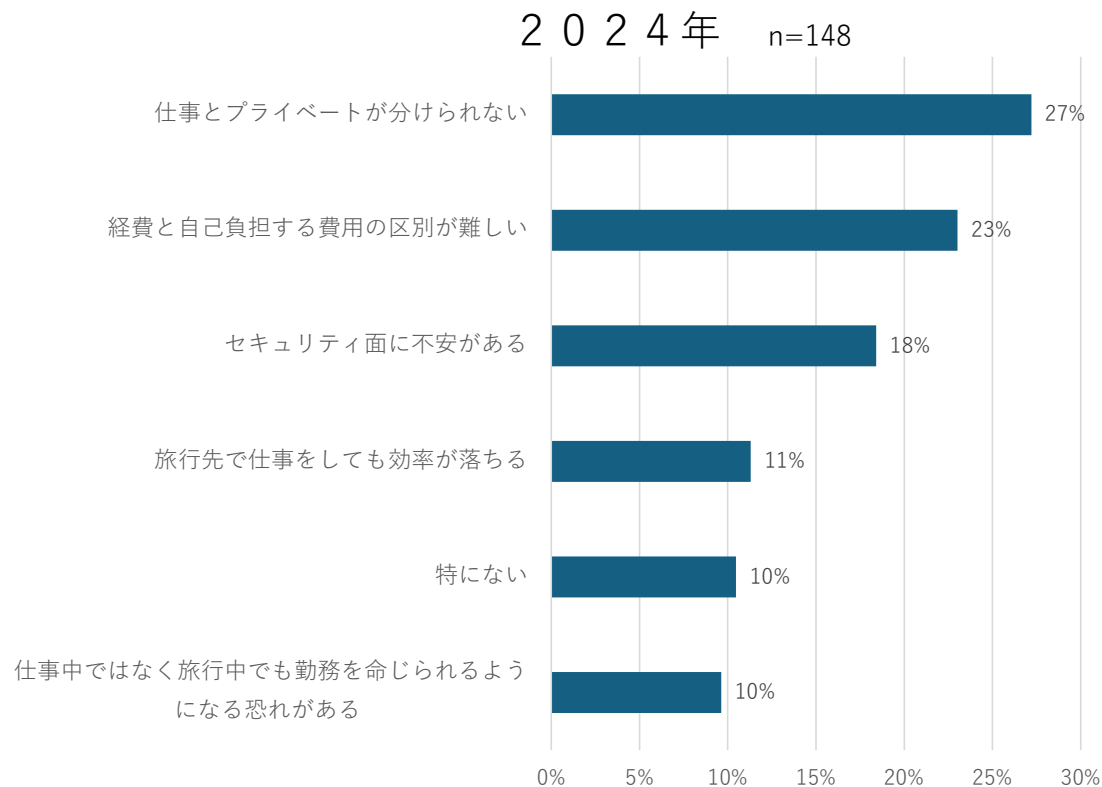
ワーケーションを実施するメリットとして、「リフレッシュになる」や「ライフ・ワーク・バランスが向上する」が上位に挙がってきています。



<ワーケーション経験あり、予定あり、許可されておりしてみたい方からの回答>

## 10 ワーケーションの実施に関して、どのようなデメリットを感じましたか（感じると思いますか）。（複数回答可）

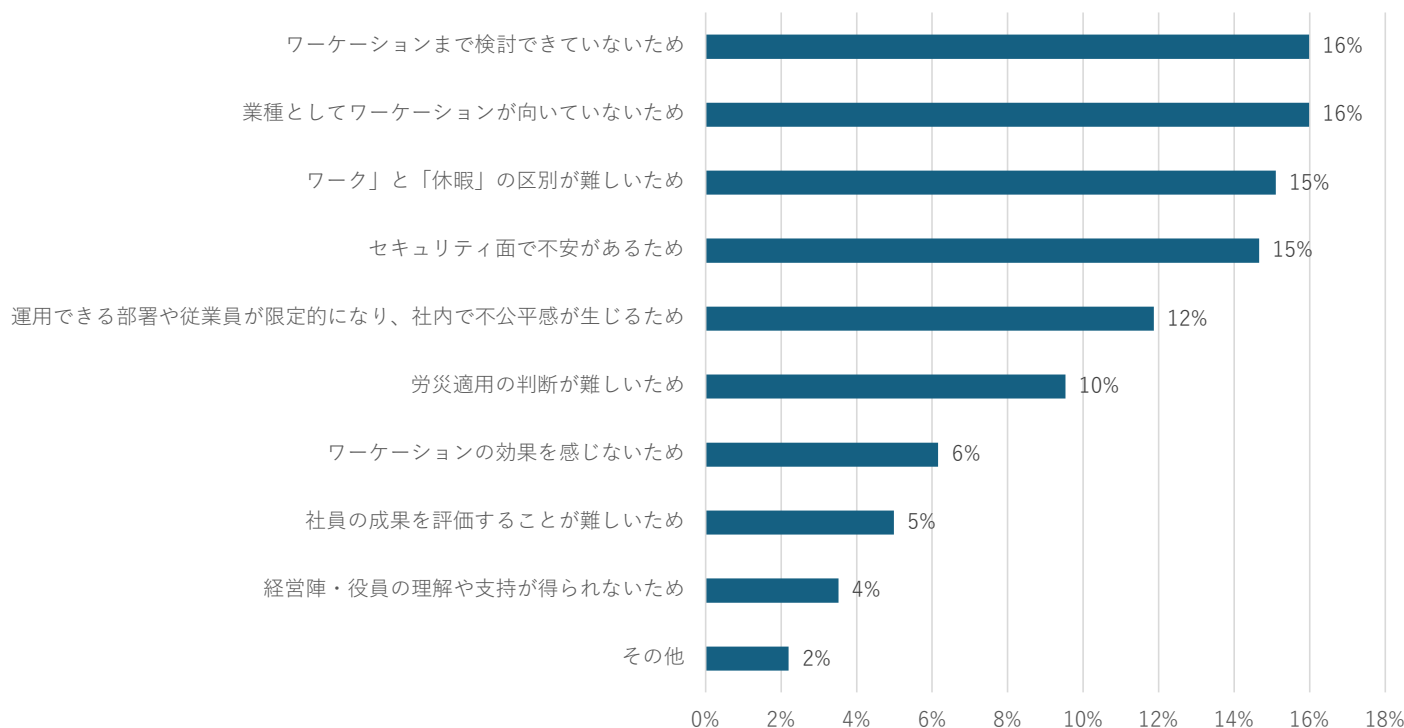
仕事とプライベート、経費と自己負担する費用など、公私の区別の難しさをデメリットとする回答が約5割と多く、セキュリティへの不安も約2割ありました。



<ワーケーション経験なし（してみたいとは思っていない）（許可されてないが、できればしてみたい）の方からの回答>  
**1 1 ワーケーション勤務を導入していない理由（導入の妨げとなっていると考えられる課題）を教えてください。（複数回答可）**

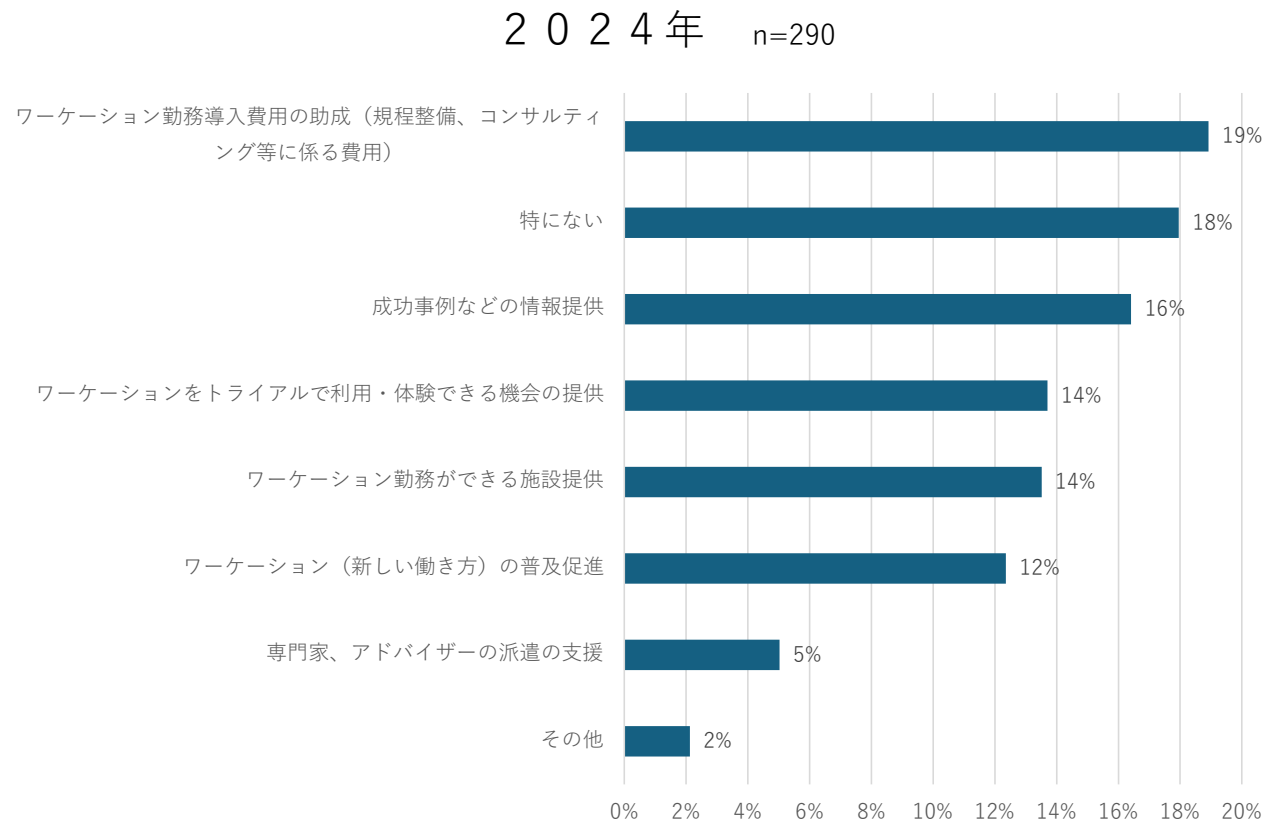
上位4項目（業種としてワーケーションが向いていないため、ワーケーションまで検討できていない、「ワーク」と「休暇」の区別が難しいため、セキュリティ面で不安があるため）の回答数がほぼ同じであり、特に傾向は見られませんでした。

2024年 n=290



<ワーケーション経験なし（してみたいとは思っていない）（許可されてないが、できればしてみたい）の方からの回答>  
**1 2 ワーケーション勤務導入にあたり行政に求める支援策を教えてください。（複数回答可）**

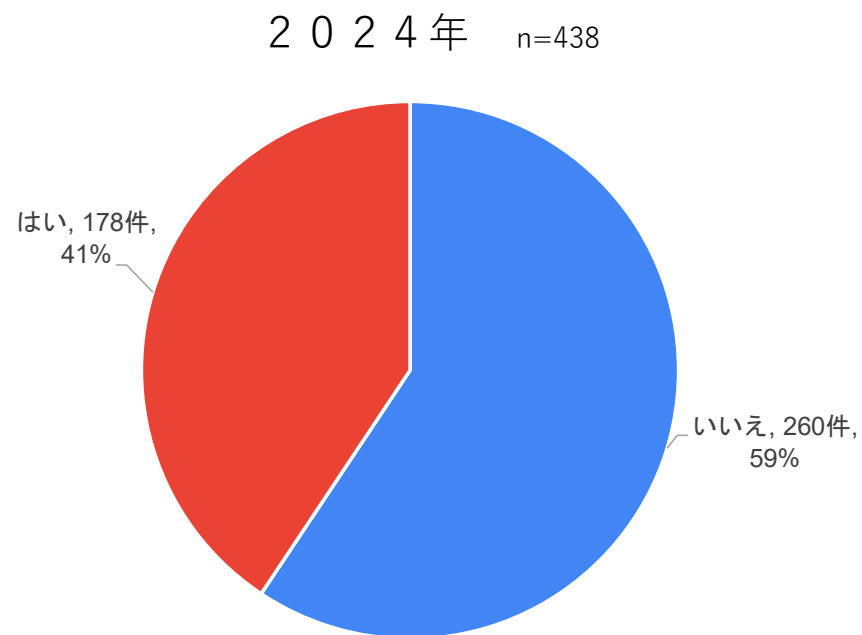
上位3項目（ワーケーション勤務導入費用の助成、特になし、成功事例などの情報提供）の回答数がほぼ同じであるため、特に傾向は見られませんでした。



### 13 テレワークをしている（できる）社員としていない（できない）社員（※）との間に不公平感がありますか？（あると思いますか？）

※工事現場の作業員や接客対応等のため必ず出社しなければならない従業員など

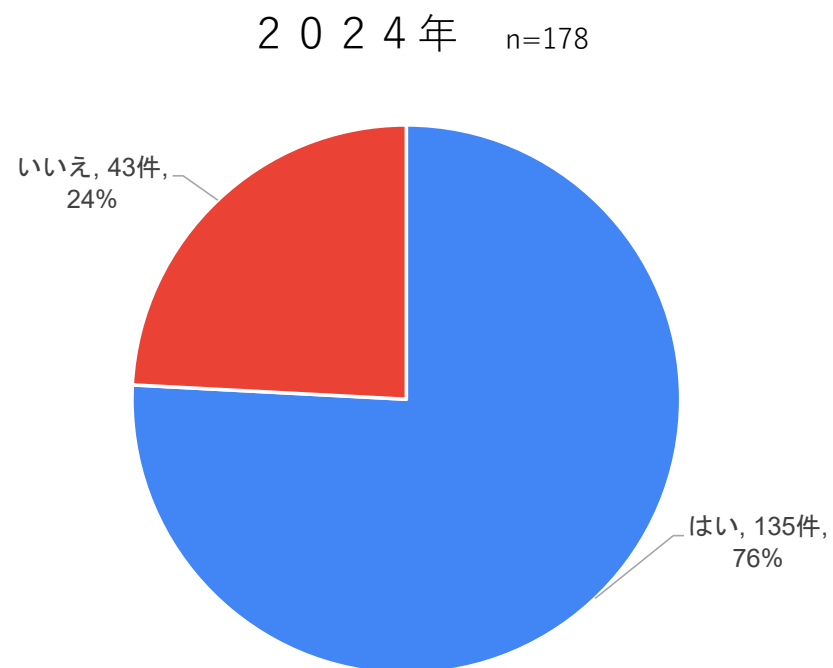
41%が不公平感があると回答しており、不公平感はテレワークにおける大きな課題です。



<不公平感あると回答した方>

## 14 あなたはテレワークをしている（できる）社員ですか？

不公平感があると回答した方のうち、76%が「はい」と回答しました。

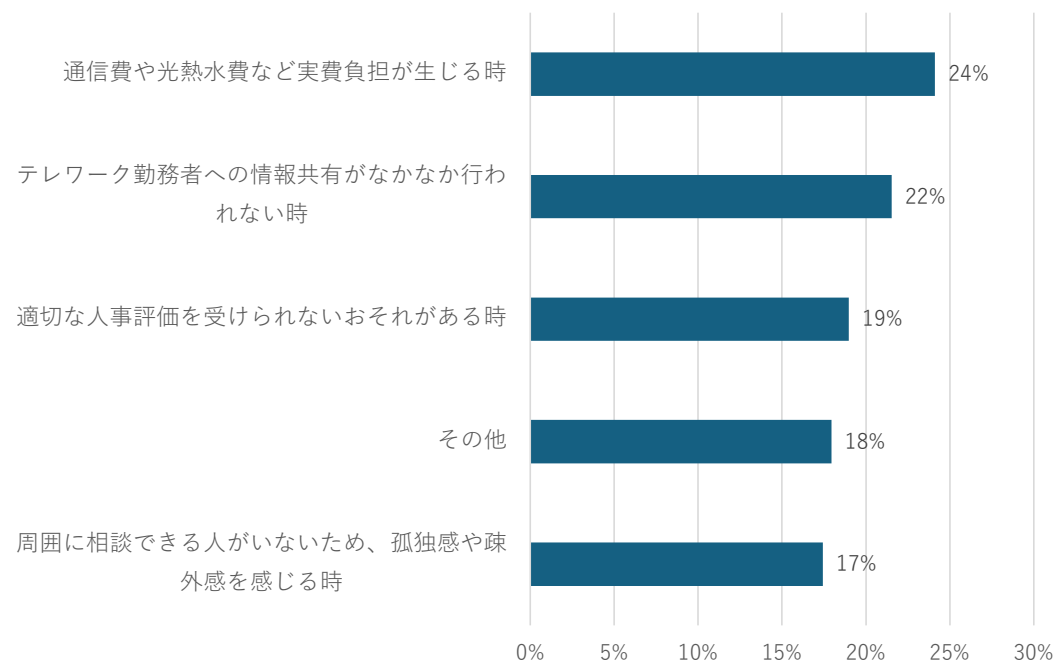


<不公平感あると回答した方でテレワークのできる方>

## 15 どのような時に不公平感を感じますか（感じると思われますか）。（複数回答可）

費用負担や情報共有、人事評価、孤立感を不安視する回答が多くありました。その他の意見として「したいけど業務上出来ない人には申し訳ない。」といった職種による不公平感に関する回答もありました。

2024年 n=135



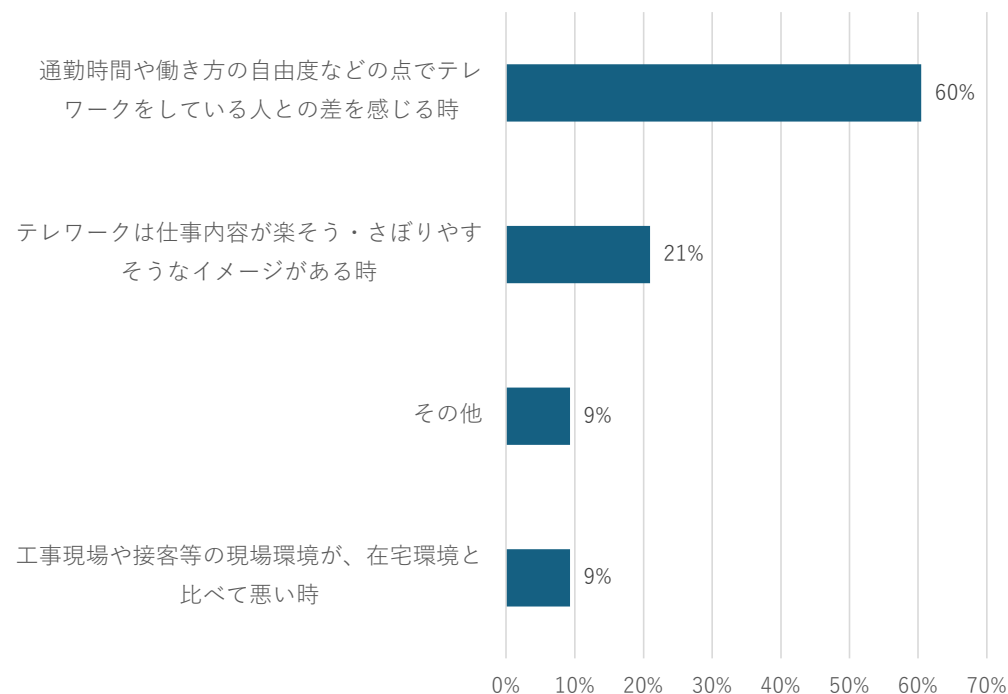


<不公平感あると回答した方でテレワークのできない方>

## 16 どのような時に不公平感を感じますか（感じると思われますか）。（複数回答可）

テレワークができない方のうち、60%の方が「通勤時間や働き方の自由度などの点で不公平感を感じる」と回答しました。

2024年 n=43



<不公平感あると回答した方>

## 17 テレワークの実施に関して、どのような取り組みをすれば不公平感の解消や軽減につながると考えられますか。（複数回答可）

進捗状況の見える化や評価制度の見直しなどの回答が上位にあがりましたが、特に傾向は見られませんでした。その他の意見として「出勤者の手当を出す」や「現場環境の改善」といった回答もありました。

2024年 n=178

